

令和6年度 入学者募集要項

山形県立山形工業高等学校

〒990-0041 山形市緑町一丁目5番12号

TEL (023)622-4934

I アドミッション・ポリシー

- ものづくりが好きで、将来の地域産業を担いたい生徒を募集します。
- 工業技術に興味・関心があり、高い志を持って学習に取り組む生徒を募集します。
- 生徒会活動や部活動に積極的に取り組む意欲のある生徒を募集します。

II 募集学科及び入学定員

課程	募集学科	入学定員	計
全日制	機械技術科	40名	200名
	電気電子科	40名	
	情報技術科	40名	
	建築科	40名	
	土木・化学科	40名	

III 推薦入学者選抜

1 志願資格

推薦入学に志願することができる者は、次の各号に該当するものとします。

(1) 令和6年3月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

- ① 当該学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
- ② 当該学科に対する適性、興味及び関心を有すること。
- ③ 次のアのキャリア形成に係る要件と、それ以外のイ、ウの要件のいずれか一つ以上に該当すること。

ア キャリア形成に係る要件

工業技術に興味・関心があり、産業の発展を担う創造的な技術者を目指す探究心旺盛な者。

イ 成績評定概況に係る要件

評定合計が32以上の者。

ウ 特別活動等に係る要件

下記のいずれかに該当する者。

- a 生徒会の役員、委員会委員長、学級委員長、部活動の部長等を経験した者。
- b 運動(部)活動で中学総体、同新人大会及び県スポーツ協会加盟団体主催大会において地区大会入賞以上の実績をあげた者。
- c 文化(部)活動で県又は同等以上のコンテストなどで入選(入賞)以上の実績をあげた者。
- d 団体種目において、b、cのような実績がなくとも、地区や県の選抜チームにエントリーされた者。

(2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

2 募集人員

当該学科の入学定員の30%以内とします。

3 進路等相談

中学校長は、必要がある場合は、令和6年1月17日(水)午後5時までに本校校長に健康及び身体の状況について相談してください。

4 出願に必要な書類及び受付期間

出願に必要な書類	受付期間
① 推薦入学願書 ② 自己推薦書 ③ 調査書 ④ 自己申告書 ⑤ 評定概況	令和6年1月19日(金) から 令和6年1月25日(木) 12時まで 受付時間は、1月25日以外は午前9時から 午後4時30分とします。 郵送の場合でも、締切日時までに必着とします。

※ 出願は、1学科に限ります。

(1) 共通に必要な書類

① 推薦入学願書

本校所定の用紙を用いて作成してください。推薦入学願書には、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼ってください。ただし、消印はしないでください。

② 自己推薦書

本校所定の用紙を用いて作成してください。

③ 調査書

令和6年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式により作成してください。

(2) 個別に必要な書類

④ 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には志願者等が作成した自己申告書を提出することができます。用紙は本校所定のものを用いて作成してください。

(3) その他の書類

⑤ 評定概況

中学校長は、令和6年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式により、1部提出してください。

5 出願手続

(1) 出願に必要な書類は、「推薦入学者選抜志願者名簿」を添え、在籍中学校長を経由して本校校長に提出してください。

(2) 中学校長が出願に必要な書類を郵送する場合は簡易書留郵便とし、返信用切手434円分[郵送料84円及び簡易書留料金350円分]を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封してください。ただし、複数の志願者の書類を郵送する場合は、必要な返信用切手料金を本校に確認して下さい。

(3) 志願の取消しや締切り前の変更は、必ず公文書を添えてください。

6 面接

志願者については、次により面接を実施します。

(1) 期 日 令和6年2月2日(金)

(2) 検査会場 本校指定教室

(3) 集 合 午前8時30分までに検査会場に集合してください。なお、生徒昇降口は午前8時に開錠します。

(4) 日 程

8:30~8:40	9:00~
受付	面接

(5) 面 接

① 形 態 個人面接

② 時 間 10分程度

③ 面 接 者 3名の本校職員があたります。

④ 評価の観点

評価は次の4つの観点により、A、B、Cの3段階で評価します。

- ア 志望動機、目的意識が明確である。
- イ 本校の教育に対する適性、興味・関心がある。
- ウ 心構え、態度が望ましい。
- エ コミュニケーション能力がある。

(6) 受検者の携帯品 受検票、上履き、下足袋

7 選 抜

調査書、面接の結果を総合して行います。選抜規準は次のとおりです。なお、自己推薦書及び自己申告書等は面接で志望動機等を確認する際、必要に応じて参考資料とします。

調査書学習の記録	調査書学習の記録以外	面接
45	30	25

8 選抜結果の通知

令和6年2月9日(金)までに、中学校長あてに「推薦入学者選抜結果通知書」を送付し、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付します。

ただし、合格者の発表は、令和6年3月17日(日)、Webへの公開により合格者の受検番号を発表します。また、午後4時頃、本校生徒昇降口前に合格者の受検番号を掲示して行います。

9 注 意 事 項

- (1) 書類等の請求等で、郵送を希望する場合は、返信用切手が必要となります。その金額は内容によって異なりますので、本校教務部担当*に照会ください。
- (2) 推薦入学者選抜に漏れた者で、本校の一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書と推薦入学受検票を本校校長あてに提出してください。ただし、入学者選抜手数料の納付は必要ありません。また、他の高等学校へ志願変更を希望する者は、推薦入学受検票を貼った志願変更願を本校校長あてに提出してください。なお、郵送による受理及び交付は行いません。
- (3) その他不明な点は、本校教務部担当*に照会ください。

※ 電話(023)622-4934

IV 一般入学者選抜

1 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者としてします。

- (1) 令和6年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和6年度推薦入学者選抜又は中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則 第95条 の各号のいずれかに該当する者。

2 募集学科及び募集人員

Iの募集学科及び入学定員により、募集学科毎に入学定員まで募集します。なお、各学科とも、定員の30%以内を推薦による選抜とします。

3 進路等相談

中学校長及び特別支援学校長は、入学選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は令和6年1月31日(水)午後5時までに本校校長に、健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談してください。

4 出願に必要な書類及び受付期間

出願に必要な書類	受付期間
① 一般入学願書 ② 調査書 ③ 自己申告書 ④ 評定概況	令和6年2月16日(金) から 令和6年2月22日(木) 12時まで 受付時間は、2月22日以外は午前9時から 午後4時30分とします。 郵送の場合でも、締切日時までに必着とします。

※ 公立高等学校への志願は1人1校です。

※ 志願の学科は第3志望まで認めます。

(1) 共通に必要な書類

① 一般入学願書

ア 本校所定の用紙を用いて作成してください。一般入学願書には、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼ってください。ただし、消印はしないでください。

イ 第2、3志望学科がない場合は、その欄に右上がりの斜線を引いてください。

② 調査書

ア 令和6年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式により作成してください。

イ 推薦入学の志願にかかわって提出済の場合は、提出する必要はありません。

(2) 個別に必要な書類

③ 自己申告書

ア 進路等相談により本校校長が認めた者は、本校所定の用紙を用いて作成してください。

イ 推薦入学の志願にかかわって提出済の場合は、提出する必要はありません。

(3) その他の書類

④ 評定概況

ア 中学校長は、令和6年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式により、1部提出してください。

イ 推薦入学者選抜の志願にかかわって提出済の場合は、提出する必要はありません。

ウ 県外からの志願者及び特別支援学校、令和4年度以前の卒業生からの志願者については、提出する必要はありません。

5 出願手続

(1) 出願に必要な書類は、「一般入学者選抜志願者名簿」を添え、在籍又は出身中学校長を經由して本校校長に提出してください。

なお、推薦入学者選抜に漏れた者で、本校の一般入学者選抜を志願する者は、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて記入し提出してください。

(2) 中学校長が出願に必要な書類を郵送する場合は簡易書留郵便とし、返信用切手434円分[郵送料84円及び簡易書留料350円分]を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封してください。ただし、複数の志願者の書類を郵送する場合は、必要な返信用切手料金を本校に確認して下さい。

(3) 志願の取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えてください。

(4) 推薦入学者選抜に漏れた者で、本校の一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書(県収入証紙は不要)を提出してください。その際、先に交付された受検票を一般入学願書に添付してください。

(5) 県外から志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和6年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出し、その許可書を一般入学願書に添付してください。また、一家転住等の理由による場合は、上記許可願に、学区外志願の理由を証明するに足る書類及び誓約書それぞれ1部を添付してください。

(6) 外国から志願する者で、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業生については、令和6年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願と帰国先の住民票又は本県への転住の理由を証明する公的証明書等及び誓約書それぞれ1部を、本県教育委員会教育長に提出し、その許可書を一般入学願書に添付してください。

- (7) 外国から志願する者で、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業者以外の者については、令和5年12月末を目途に志願資格の有無を判定するための書類(卒業証明書など)を本校へ提出してください。その後、志願資格が認められた者の手続きについては、上記(6)と同様になります。
- (8) 高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍高等学校長の志願承諾書を一般入学願書に添付してください。

6 国立諸学校に合格した志願者の取扱い

- (1) 在籍又は出身中学校長は、令和6年3月4日(月)12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に対して、所定の文書で報告してください。その際、合格した国立諸学校に入学する者の本校の受検票を添付してください。なお、令和6年3月1日(金)において、合否が未定の場合は、諾否の記載欄に「未定」と記載してください。「未定」と記載した者の合否が、その後判明した場合は、入学の諾否を在籍又は出身中学校長が、本校校長に対して、速やかに電話連絡した上で、文書で報告してください。
- (2) (1)により、国立諸学校へ入学する旨報告のあった志願者については、選抜から除外します。

7 学 力 検 査

- (1) 期 日 令和6年3月7日(木)
- (2) 検査会場 本校指定教室
- (3) 集 合 午前8時20分までに検査会場に集合してください。その後、点呼、諸注意、連絡等があります。なお、生徒昇降口は午前7時40分に開錠します。
- (4) 検査教科および検査時間

時 間	8:50~9:40	10:00~10:50	11:10~12:00	12:50~13:40	14:00~14:50
教 科	国 語	数 学	社 会	理 科	外国語(英語) 〔14:00から約10分間は リスニングテスト〕

- (5) 受検者の携帯品
- ① 検査会場には、受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めません。
【鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、定規(三角・直定規のいずれでもよい)、コンパス、鉛筆削り】
ただし、芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とします。
また、検査会場には下記のものを持参してはいけません。
- ア 下敷
- イ 公式や法則等の書いてある筆記用具
- ウ 分度器又は分度器のついた定規
- エ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類
- オ その他、検査の公正を欠くおそれのある物
- ② 昼食、上履き、下足袋を持参してください。
- ③ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはいけません。
- ④ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してよいものとします。

8 選 抜

調査書及び学力検査の成績等に基づき、本校各学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行います。調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、5:5とします。

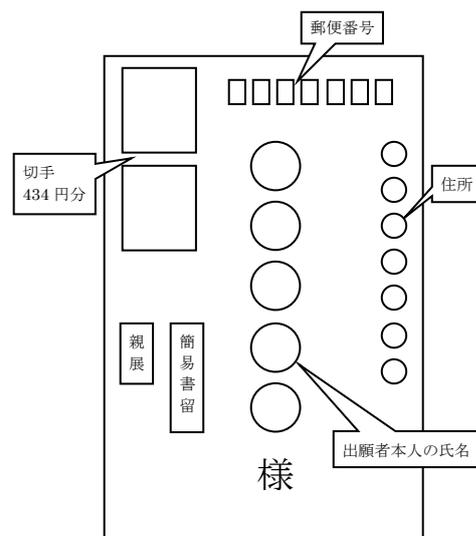
9 合格発表及び通知

- (1) 令和6年3月17日(日)Webへの公開により合格者の受検番号を発表します。なお、Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付します。
- (2) 令和6年3月17日(日)午後4時頃、本校生徒昇降口前に合格者の受検番号を掲示して行います。
- (3) 合格通知書は、願書に記載してある現住所あてに、直接本人へ送付します。

- (4) 電話による問い合わせには応じられません。
- (5) 合格者の受検番号一覧の配布は行いません。

10 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行います。個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円分〕を貼ったもの）を提出してください。



《記載例》

11 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、学力検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはなりません。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続き

追検査の受検を希望する者は、次の①、②の連絡等を行ってください。

- ① 本検査を受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡してください。
- ② 上記(1)①の場合は、医師の診断書を、上記(1)②の場合は、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出してください。

(3) 必要な書類

在籍又は出身中学校長を経由して、次の①、②の書類を3月8日(金)15時までに、提出して下さい。

- ① 追検査受検願
令和6年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式のもの。
- ② 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類。

(4) 追検査の内容及び日時等

- ① 学力検査について
内容は、上記「7 学力検査」に準ずる。
- ② 検査日時 令和6年3月12日(火) 当日の日程、時間は本検査に同じ。
- ③ 検査会場 本校指定教室
- ④ 携帯品 本検査に同じ。

(5) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱います。

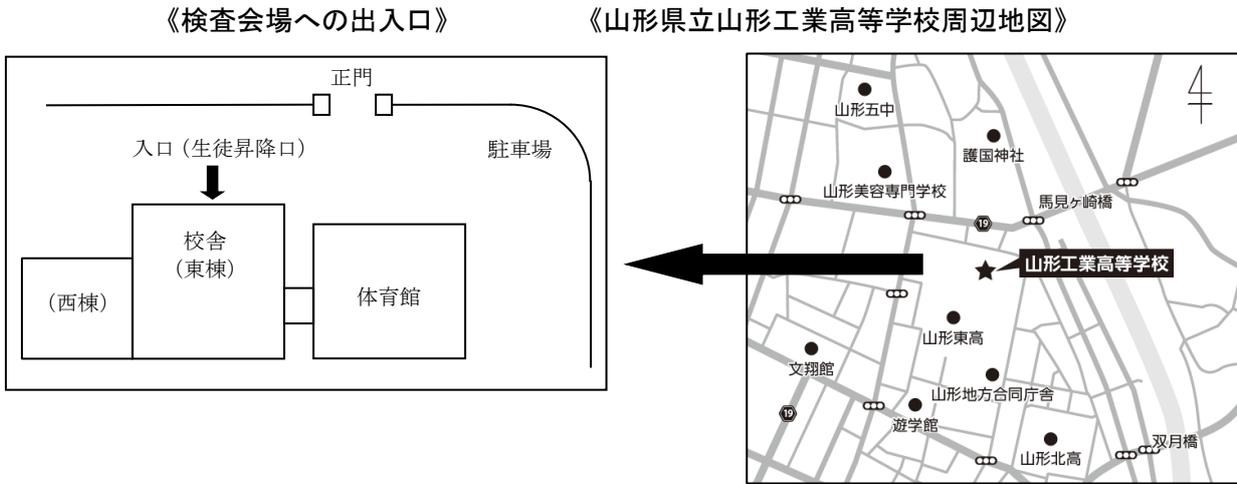
12 注意事項

- (1) 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル(dB)」及び学力検査において配慮を必要とする事項を、志願者名を記した公文書に記入してください。
- (2) 書類等の請求等で、郵送を希望する場合は、返信用切手が必要となります。その金額は内容によって異なりますので、本校教務部担当*に照会ください。
- (3) その他不明な点は、本校教務部担当*に照会ください。

※ 電話 (023) 622-4934

13 検査会場の下見について

- (1) 今年度は、検査会場の下見は行えません。検査当日の会場への出入口は、生徒昇降口（下図）になります。



14 合格者オリエンテーションについて

- (1) 日 時 令和6年3月25日(月)午前8時55分から12時まで（予定）
(2) 場 所 本校 各教室・体育館
(3) 詳細は、合格通知の際に同封される、合格者オリエンテーションの案内をご覧ください。

V 参考資料

1 入学時及び入学後の諸経費（令和5年度の状況）

入 学 時	項 目	金 額	諸 経 費 （ 年 額 ）	項 目	金 額
		入 学 料		5,650円	
	教科書関係	約30,000円		P T A 会 費	5,400円
	体育着関係	約25,000円		生 徒 会 費	6,000円
	実 習 着 製 図 用 具 そ の 他	約45,000円 学科により 異なります。		特別教育活動費	13,200円
	学年共通費	42,523円		後 援 会 費	6,000円
				修学旅行積立金	70,000円
				計	219,400円

※その他に、夏冬の指定制服代が男女共に約63,000円要します。

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。

詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

2 教育課程の概要（令和6年度入学生）

《全科共通》

教 科	科 目	学年別単位数				備 考
		1年	2年	3年	計	
国 語	現代の国語*		2		6, 9	◇印：1科目選択
	言語文化*	2				
	論理国語			2		
	国語表現			◇3		
地理歴史	地理総合*		2		4	
	歴史総合*			2		
公 民	公 共 *	2			2, 4	□印：1科目選択
	政治・経済		□2			
数 学	数 学 I *	3			9~14	
	数 学 II		4			
	数 学 III			◇3		
	数 学 A			2		
	数 学 B		□2			
理 科	科学と人間生活*			2	6, 10	■印、◆印：1科目選択 それぞれ2, 3年継続履修
	物理基礎*	2				
	物 理		■2	◆2		
保健体育	化学基礎		2		9	
	体 育 *	2	2	3		
保 健	保 健 *	1	1		2	◎印：1科目選択
	音 楽 I] * 美 術 I]	2] ◎ 2]				
外 国 語	英語コミュニケーションI*	3			8, 12	
	英語コミュニケーションII		3	2		
	論理・表現I		■2			
	論理・表現II			◆2		
家 庭	家庭基礎*	2			2	
情 報	情報 I *	(2)			(2)	代替「工業情報数理」(2)
普通教科・科目合計		19	16~20	13~18	48~57	
専門教科・科目合計		10	9~13	11~16	30~39	
総合的な探究の時間*				(3)	(3)	代替「課題研究」(3)
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	3	
総 計		30	30	30	90	

卒業単位は、教科・科目の単位、総合的な探究の時間を含め、74単位
科目の*印は、必修科目

《機械技術科》

科目	学年別単位数				備考
	1年	2年	3年	計	
工業技術基礎	3			3	
課題研究*			3	3	
機械技術実習		3	3	6	
機械技術製図	2	2	2	6	
工業情報数理*	3			3	
工業管理技術		□2		0, 2	
機械工作		2	◆2	2, 4	
機械設計	2	2		4	
原動機			◇3	0, 3	
電子機械		■2		0, 2	
生産技術			3	3	
専門教科・科目合計	10	9~13	11~16	30~39	

《電気電子科》

科目	学年別単位数				備考
	1年	2年	3年	計	
工業技術基礎	3			3	
課題研究*			4	4	
電気電子実習		5	3	8	
電気電子製図			2	2	
工業情報数理*	2			2	
電気回路	2	2		4	
電気機器			◇3	0, 3	
電力技術	3	□2		3, 5	
電子技術		2	◆2	2, 4	
電子計測制御			2	2	
プログラミング技術		■2		0, 2	
専門教科・科目合計	10	9~13	11~16	30~39	

《情報技術科》

科目	学年別単位数				備考
	1年	2年	3年	計	
工業技術基礎	3			3	
課題研究*			3	3	
情報技術実習		3	4	7	
工業情報数理*	3			3	
生産技術	2			2	
プログラミング技術		2	2	4	
ハードウェア技術		2	2	4	
ソフトウェア技術		2	◆2	2, 4	
コンピュータシステム技術	2		◇3	2, 5	
デザイン実践		■2		0, 2	
ウェブ技術探究		□2		0, 2	
専門教科・科目合計	10	9~13	11~16	30~39	学校設定科目(第4年履修)

《建築科》

科目	学年別単位数				備考
	1年	2年	3年	計	
工業技術基礎	2			2	
課題研究*			3	3	
建築実習		3	2	5	
建築製図	2	2	2	6	
工業情報数理*	2			2	
建築構造	2	2		4	
建築計画		■2	◆2	0, 4	
建築構造設計	2	2	2	6	
建築施工		□2	◇3	0, 5	
建築法規			2	2	
専門教科・科目合計	10	9~13	11~16	30~39	

《土木・化学科》

科目	学年別単位数						備考	
	1年		2年		3年			計
	土	化	土	化	土	化		
工業技術基礎	5	5					5	
課題研究*					3	3	3	
土木・化学実習			3	3	4	4	7	
土木・化学製図	3	3					3	
工業情報数理*	2	2					2	
工業管理技術			□2	□2			0, 2	
測量			2		2		0, 4	
土木基盤力学					◆2		0, 2	
土木構造設計			2				0, 2	
土木施工			2		◇3		0, 2, 5	
社会基盤工学					2		0, 2	
工業化学				4		4	0, 8	
化学工学				2		◇3	0, 2, 5	
地球環境化学			■2	■2		◆2	0, 2, 4	
専門教科・科目合計	10		9~13		11~16		30~39	

○科目の*印は、必修科目

○選択について 2年次…□印、■印からそれぞれ1科目選択 3年次…◇印、◆印からそれぞれ1科目選択

■◆印は、2, 3年継続履修

○土木・化学科について 2年次から専門領域別に履修 土印は、土木技術コース選択者が履修 化印は、化学技術コース選択者が履修